

Weekly Bulletin

2023-2024



RI会長
ゴードンR.マッキナリー



世界に希望を生み出そう

静岡東ロータリークラブ

会長/川口尚宜 幹事/宮崎貴久

事務局/静岡市葵区追手町2-12 静岡安藤ハザマビル5F TEL054-254-5611

例会場/ホテルアソシア静岡 例会日/毎週 未曜日 12:30~13:30

<http://www.shizuoka-east-rc.jp>



会長
川口尚宜

第3095回例会

令和6年4月11日

《司会》 宮崎 貴久 君

《合唱》 静岡東ロータリー

《ソングリーダー》 福島 清志 君

《ゲスト》 国際ロータリー第2620地区
ガバナー 中村 皇積 様
国際ロータリー第2620地区
地区副幹事 寺戸 常剛 様

《ビジター》 静岡西ロータリークラブ
小泉 健二 君

《本日のお祝い》

・お誕生日 該当者なし

・結婚記念日

4月15日 谷口 智康 君

4月17日 山下 勝央 君

《会長挨拶》 川口尚宜 会長

先週は、まさにベストタイミングでの浮月楼観桜会素晴らしかったですね！わがクラブ、2620地区と皆さんの人生のようなこれからピークを迎える6分咲きの桜を見ながら楽しい時間を過ごしました。本日は、男気じゃんけんのお約束で全額プラスαでスマイルいたしました。親睦グループの皆様ありがとうございました。

さて、桜の季節といえば、街にはリクルートスーツを着た新入社員とおぼしきフレッシュマンが歩いている姿を見かける季節でもあります。当社にも少ないですが栄養士2名と調理師1名の3名の新入社員を迎えることができました。本日は、私も新入社員にした、経営の神様松下幸之助さんが松下電器時代の新入社員に向かって話をした「松下

電器で重役になるたった2つのこと」というお話をします。

このお話は、京都大学を卒業後松下電器に昭和40年入社、31年間在籍した上甲（じょうこう）晃（あきら）さんが新入社員研修で聞いたお話だそうです。上甲さんが後にこのお話を同期の仲間にしたところ誰も覚えていなかったそうです。同じことを聞いてもどう受け取るかによってその後の結果が変わってくるもんだなあと思ったそうです。上甲さんは、この2つのことを退社するまでずっと心に止め実践をしたことで松下政経塾塾頭に抜擢されることとなります。ある時、松下電器の新入社員研修で松下幸之助さんが「君らな、僕がいまから言う2つのことを守り通したら、松下電器の重役になれる」と前置きしたうえでこう言ったそうです。

「一つは、いい会社に入ったと思われ続けられるかどうかや」

誰でも入社したばかりの時はいい会社に入ったと思う。しかし、嫌な上司がいたり、意に沿わない仕事をさせられたり、様々な不遇に遭う。それでもなお、いい会社を選んだと心から思えるかどうかはすごく大事なことだ、と。「人間、9割は自分ではどうにもならない運命のもとに生きている。その運命を呪ってはいけぬ。喜んで受け入れる。すると、運がよくなる」とも教えられたそうです。世に数百万社あるといわれる中で、この会社に入ったというのは、縁や運としか言いようがない。その自分の運命を呪わず、前向きに喜んで受け止めていくと人生は好転する。これは会社のみならず、生まれた国や自分の容姿など、あらゆる境遇に当てはまると学んだ、とのこと。

「もう一つは、社会人になってお金が一番大事と思った
らあかんぞ。もちろんお金も大事やけどな、お金は失くし
ても取り戻せるんや。しかし、人生にはこれを失うと取り
戻すのに大変苦労するものがある。それは信用や。信用を
大事にせなあかん」

上甲さんは、この2つの言葉に強烈な衝撃を受け、社会
人生活の基本、考え方の根っこになったと言っています。
この2つのことは、会社においても、家庭においても、ロ
ータリーにおいても言える普遍的な価値を持っている言葉
ではないでしょうか？あなたならどう考えますか？

本日は以上です。

《来賓卓話》

演題「アフターコロナにおけるロータリー活動の在り方」

国際ロータリー第2620地区

ガバナー 中村 皇積 様



《卓話サマリー》

1. 新型コロナウイルスの流行は私達に何をもたらし、これ
を私達はどうか生かしていくのか。

①ビデオ会議、SNSの活用、動画配信の発達による会
議等の効率化・情報共有や意見交換の活発化

②公衆衛生の重要性の再認識とポリオ撲滅に向けた活動
新型コロナウイルス流行下における社会状況（市民の
パニック等）は、ポリオ流行時の数十年前と酷似。

公衆衛生の重要性が再認識されたと考えられる。

ポリオにおいては撲滅まであともう少しのところまで
来ているが、引き続き努力が求められる。撲滅に向け

て、ロータリーカードの作成等を通じて是非ご協力い
ただきたい。

2. コロナ禍を経た今、重視され、もしくはこれから重視
されるべき視点

①地域社会が本当に必要としている問題の解決に向けた
取り組みへの参画

→問題の解決もしくは改善及びそれらの成果の可視化

②参加者の“体験”に重点を置く運営

・参加者中心の参画経路と機会の提供

→友情交換プログラム

・Training から Learning への転換

→RLI (Rotary Leadership Institute)

ロータリー リーダーシップ研究会

《所感》

コロナ禍を経たからこそ得られた視点と、それらの視点に
基づきロータリーの活動をどのように発展させていくかを
考えていくためのお話をいただき、大変貴重な時間であっ
たと感じました。

《スマイル報告》

川口 尚宜 会長

「中村ガバナーの卓話に感謝して。又、4/4 観桜会で男気
じゃんけんでのお約束を果たすべくスマイル致します。」

妹背 俊紀 君

「本日、中村ガバナーにお越しいただき心からの感謝を込
めてスマイルします。」

戸塚 敦雄 君

「観桜会には弊社のお酒「喜平」を用意していただき、
ありがとうございました。親睦活動グループの皆様に感謝
してスマイル致します。」

塚田 義生 君

「先週は観桜会への参加ありがとうございました。拙い司
会進行ではありましたが、皆様のご協力で何とかお納めす
ることが出来ました。関係者、皆様のご支援、ご協力に感謝
です。」

神野 一成 君（誕生日と結婚記念日の御礼）

稲森 敦子 君（誕生日の御礼）

谷口 智康 君（結婚記念日の御礼）

栗木 良彦 君（結婚記念日の御礼）

藤田 尚徳 君

「皆様のボックスに 1000 円につき 500 円使えるチケット
が 5 枚セットになっている割引券を入れさせていただきました。
赤字覚悟の企画です。忙しい週末でなく、暇な平日
に使ってください。特に新店舗、一ふじ二たか で使って
ください!!」

(会報作成 近江 陽子)